



新型コロナウイルスで問われる スクールソーシャルワークの価値

日本学校ソーシャルワーク学会関東・甲信越ブロック

～ZOOM オンライン研修会～

日時：令和2年

10月**4**日(日)



13:00～16:00

参加費：無料

今まで直面したことが無い「見えない脅威」である新型コロナウイルス。文部科学省は感染対策に伴う休校において、家庭環境などをめぐる課題が大きいなどの事情がある「要保護」の児童・生徒に関しては、スクールソーシャルワーカー（SSW）などを活用して支援に努めることなどを求めました。SSWの支援がどうあるべきか、日本学校ソーシャルワーク学会が現任SSWを対象に行ったアンケート調査や現場の報告から、皆さんとともに考えあいます。

【第1部】

現任SSW対象「COVID-19の感染拡大及びそれに伴う休校措置によるスクールソーシャルワーク活動への影響に関するアンケート」結果報告

報告者 関東・信越ブロック運営委員会委員

石田 優子（東京都福生市／教員）

横井 葉子（聖徳大学／准教授）ほか

【第2部】

パネルディスカッション「コロナ禍でSSWは何を価値と捉え実践するのか～現場の報告から～」

パネリスト 小林 久美子氏（東京都文京区／SSW）

青木 ひふみ氏（横浜市／SSW）

清水 美穂氏（大阪府太子町／SSW）

丹後 ちはる氏（福岡市／SSW）

コーディネーター：馬場幸子（関東・甲信越ブロック運営委員長）

【対象】 スクールソーシャルワーカー、学校・教育委員会関係者、その他関連職種の方

【申込方法】 氏名、所属、職名、連絡先を jsssw.kanto@gmail.com に送信ください。

※参加方法の案内を返信しますが、パソコンからのメールを受信拒否されている携帯、スマホのアドレスには返信ができません。申込み時に上記アドレスを受信許可くださいますよう、よろしくお願いいたします。

主催：日本学校ソーシャルワーク学会関東・甲信越ブロック